



令和 5 年 6 月 1 日
午前 午後 8 時 49 分 受領

No. 1

議長	事務局長	係

令和 5 年 6 月 1 日

愛南町議会議長 佐々木 史仁 殿

愛南町議会議員 石川 秀夫

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問の要旨	答弁を求める者
<p>1. 柏小学校と家串小学校の内海中学校を転用して新しい小学校の開校予定について</p> <p>内海中学校を転用した小学校を令和7年に開校する予定ですが、両校とも生徒数も比較的減少しない中で急いで令和7年に統合する必要性があるとは思いません。</p> <p>そこでお伺いします。</p> <p>(1)伝統ある2校を統合し柏地域、由良半島地域から学校をなくし、須ノ川地域に新しい学校を開校する意義、メリット、デメリットをお伺いします。</p> <p>(2)新しく開校する学校名と学校の理念、運営についてお伺いします。</p> <p>(3) 令和4年6月29日に教育委員会が愛南町小中学校再編計画を策定しましたが、なぜ急いで令和7年に学校を開校する必要性があるのか？ また概算で今回の統合による改修総費用はどれ位を見込んでいるのか？お伺いします。</p>	教育長

2. 愛南町小中学校の不登校の生徒数増加と子供の第3の居場所づくり事業を提供する行政サービスの政策について

町長・教育長

令和元年以降、小中学校の不登校生徒数が増加傾向にあり、生徒、保護者、教育関係者にとって不幸な事態となっています。30日以上登校できなかった生徒数は、令和元年度6名、令和2年度6名、令和3年度18名、令和4年度20名、令和5年10名とコロナ禍をすぎても歯止めが掛っていないのが現状です。

そこでお伺いします。

(1)不登校になっている生徒の原因と対策についてどのように考えられているのか？お伺いします。

(2)こどもの第3の居場所づくりが不登校生徒に及ぼす効果と概算総費用についてお伺いします。

以上